

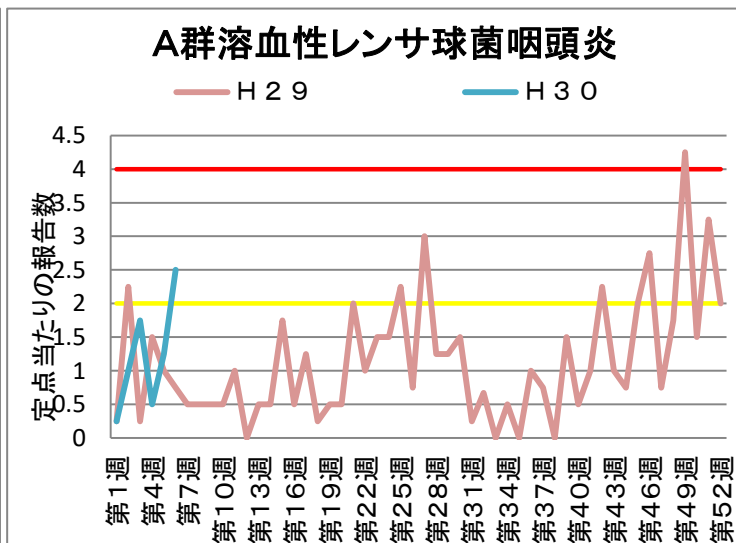
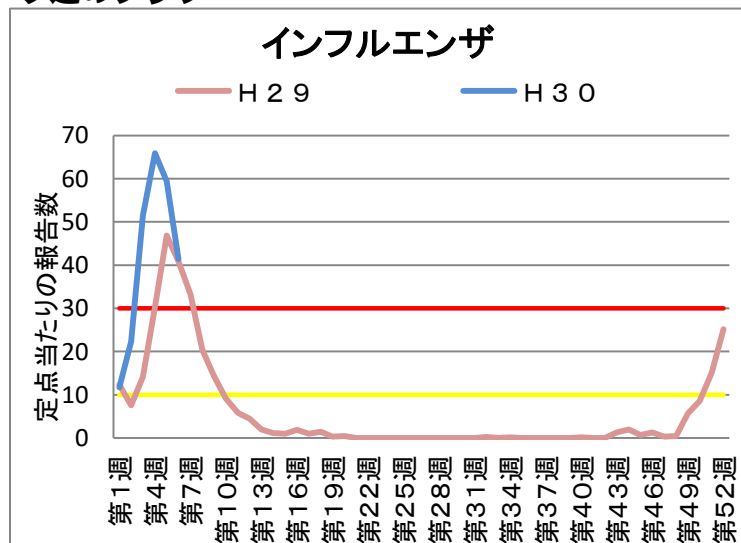
# 乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

第 6 週 平成30年2月5日 ~ 平成30年2月11日

## 今週のコメント

- インフルエンザの定点医療機関当たり報告数は41.43で、前週の59.43から低下していますが、流行警報レベルが続いています。
- 感染を予防するために帰宅時などの手洗いを心がけましょう。また、咳症状がある場合はマスクを着用し「咳エチケット」に努めましょう。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数もやや増加しています(定点当たり2.5件)。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は主に飛沫感染し、1~3日の潜伏期間の後、咽頭痛・発熱にて発症し、その後、発疹がみられます。診断された場合は、医師に指示された期間、抗生物質を内服しましょう。

## 今週のグラフ



\* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

## 今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	41.43	手足口病	-
RSウイルス感染症	0.25	伝染性紅斑	-
咽頭結膜熱	-	突発性発しん	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.5	ヘルパンギーナ	-
感染性胃腸炎	4.5	流行性耳下腺炎	-
水痘	0.75		

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

\* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数（インフルエンザ以外の疾病）：4箇所

## 参考資料等

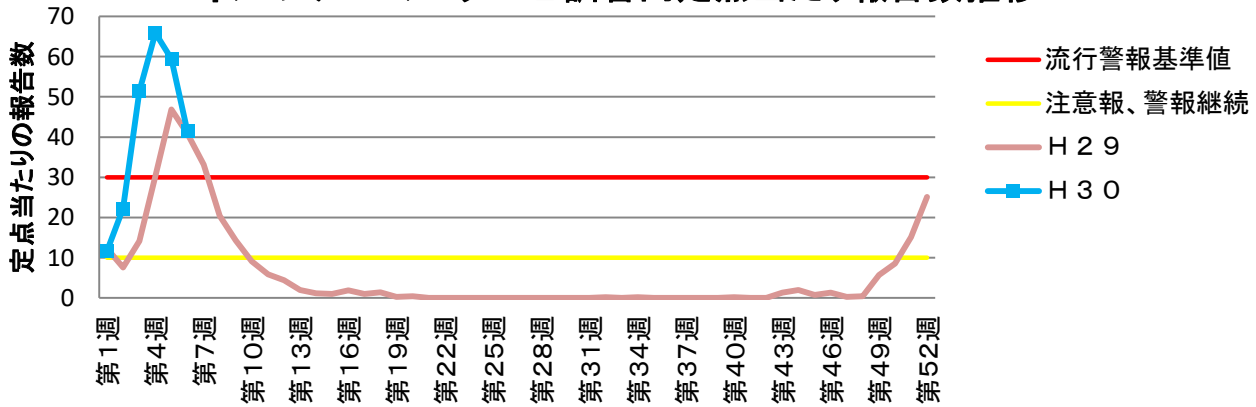
報告週対応表

警報・注意報基準値の説明

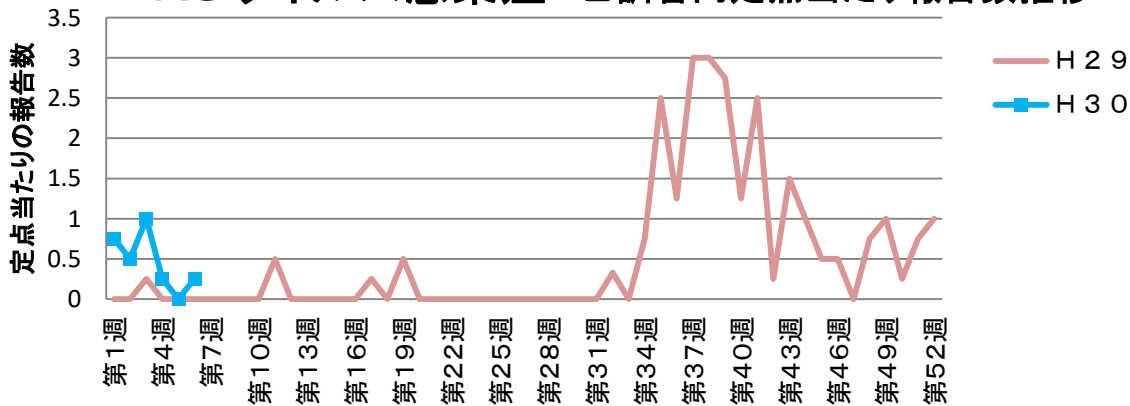
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide03.html>

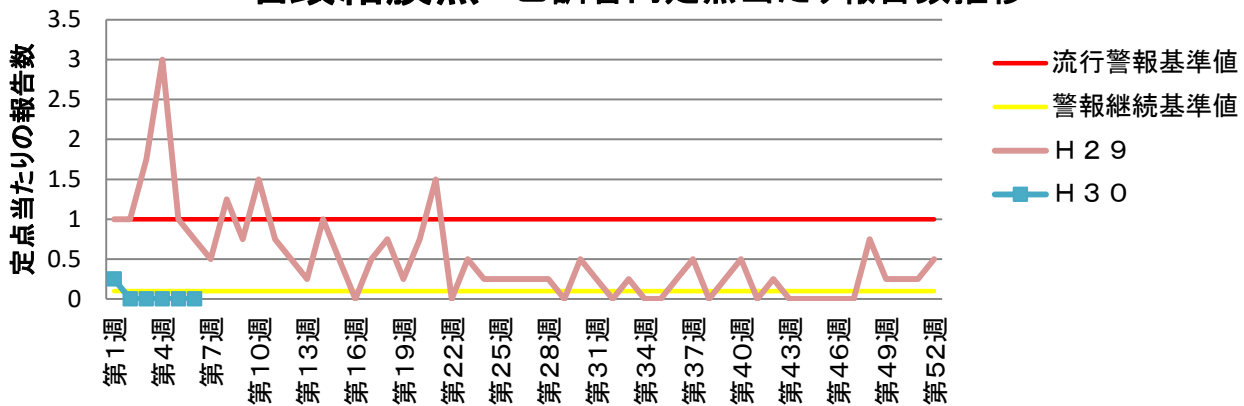
## インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



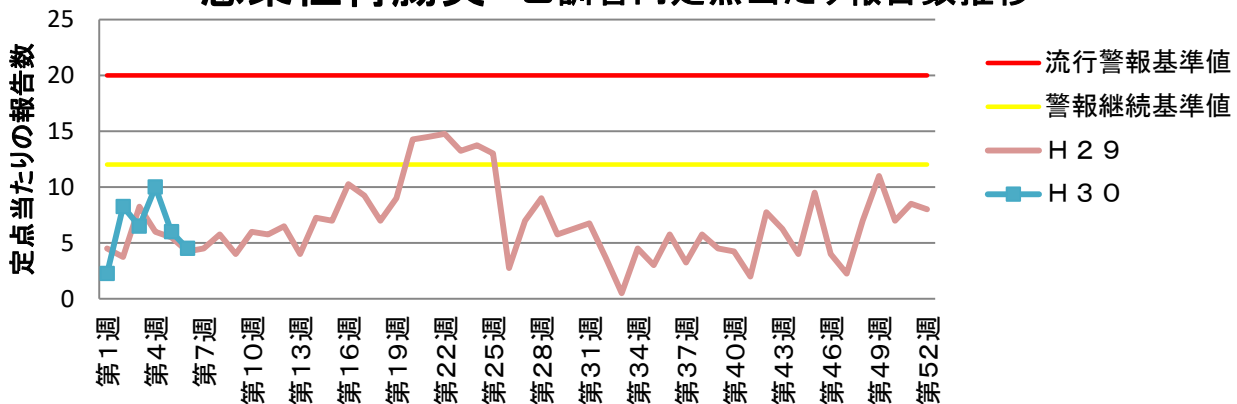
## RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



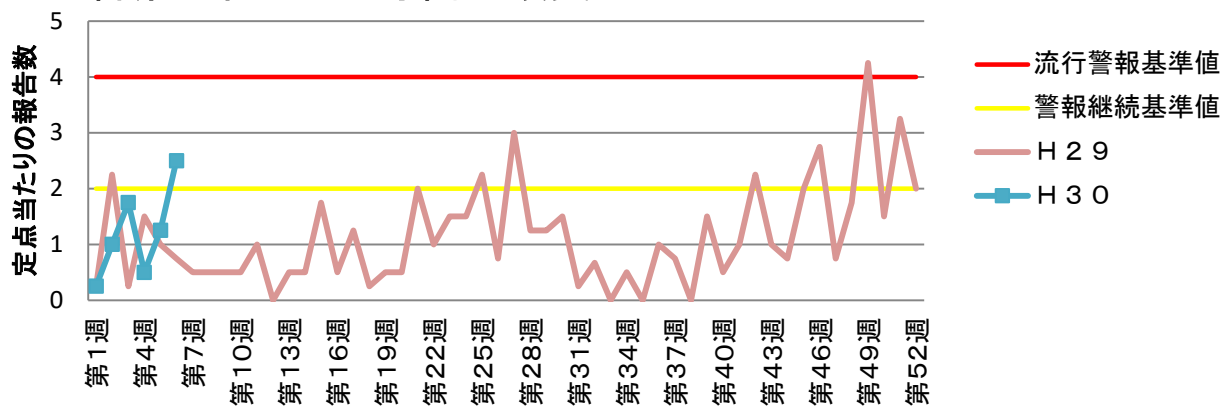
## 咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



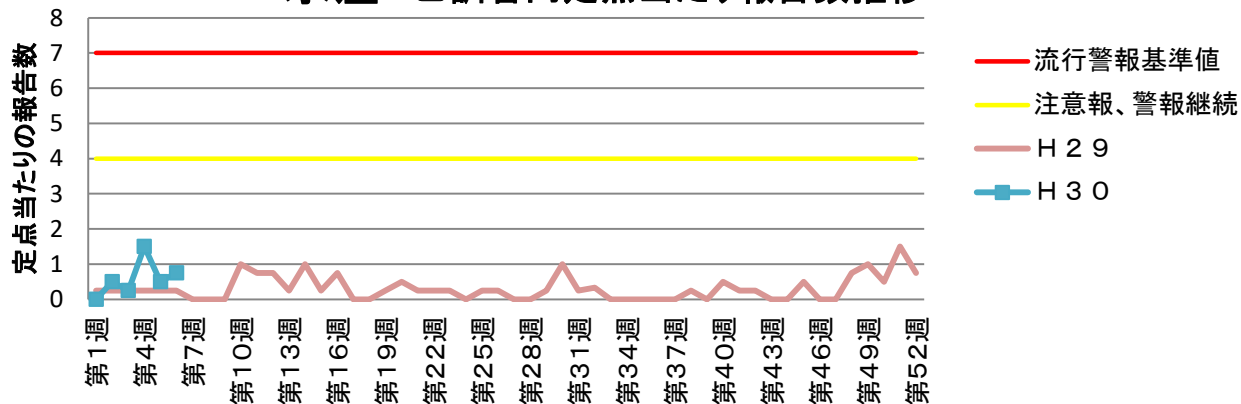
## 感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



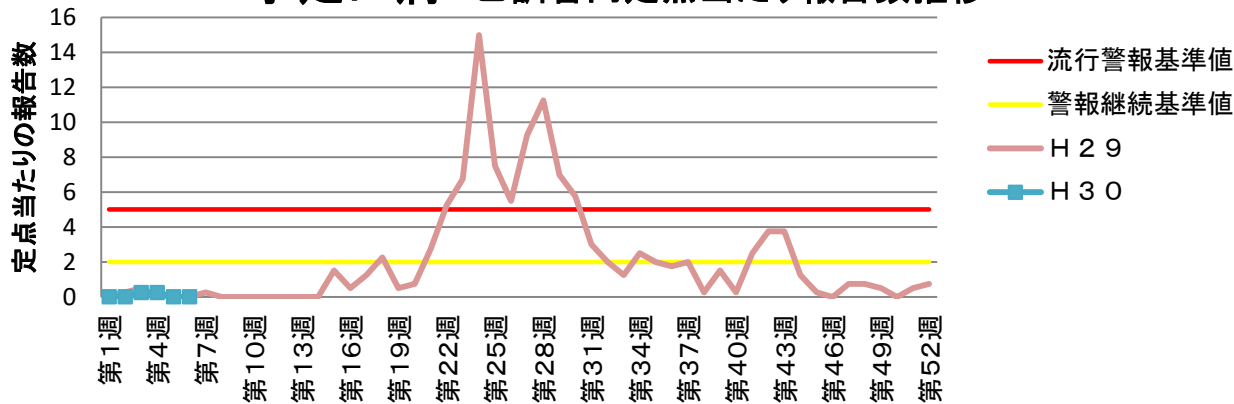
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



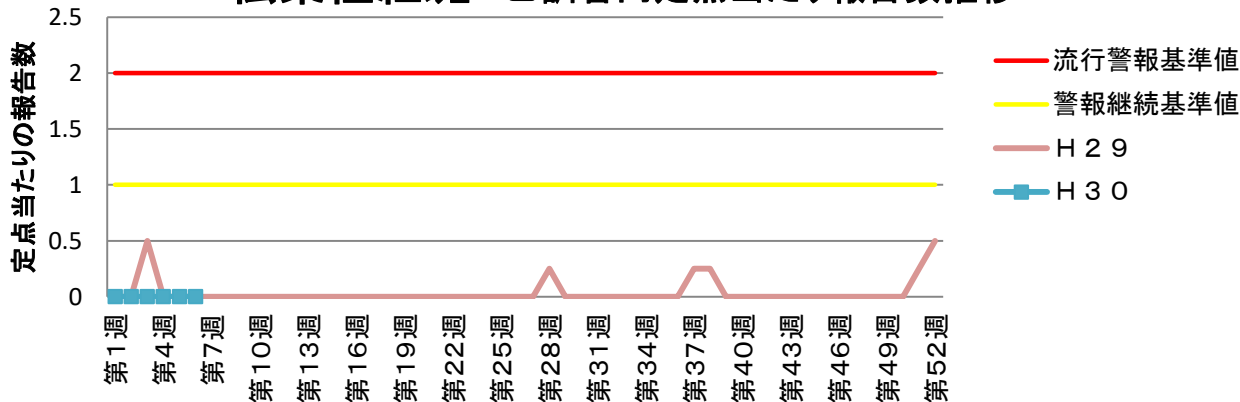
### 水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



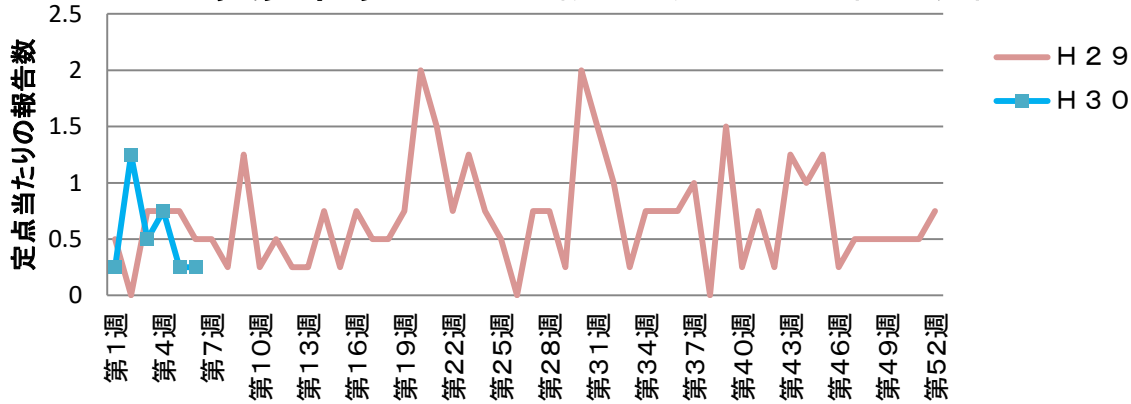
### 手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



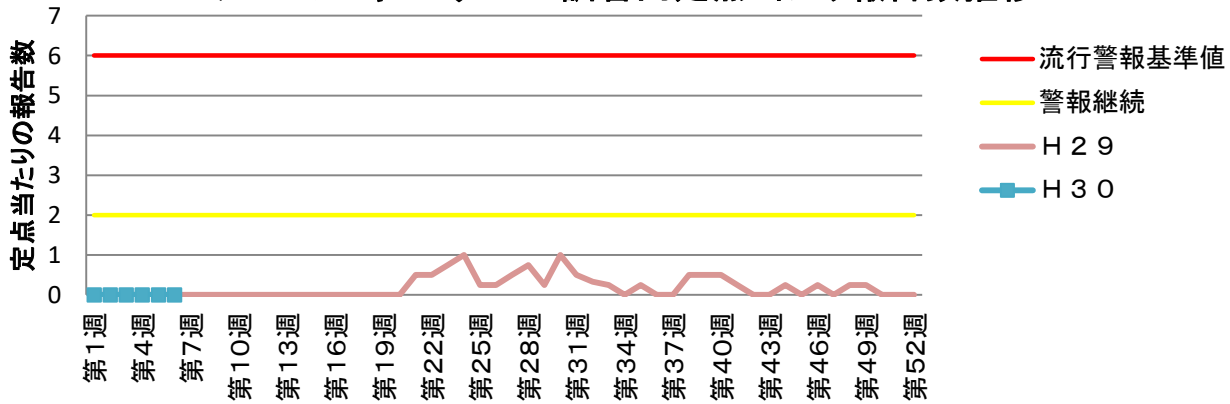
### 伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



### 突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



### ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



### 流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

